

## 参加者の声（抜粋）

- ・大変勉強になりました。同僚の理解、配慮がとても重要だと思いますが、一番難しいと思いました。休職者はもちろん、他職員へのフォローが大切と感じました。
- ・様々なパターンがあり難しいですが、流れはよく分かりました。まずは出来ることから進めます。事業所内の共通理解からですね。
- ・休職中の過ごし方の指導について、現場主任として、スタッフと関わる機会があった為、参考になった。（メンタルではなく、足のケガによるお休みであったが。）診断結果の情報の共有、休職中の生活記録表などは、有効であると感じた。
- ・職員間の研修で、支援技術や接遇方法を話し合うことはありましたが、職員間でメンタルヘルスについて話し合うことはありませんでした。ストレスの解消方法やリフレッシュの仕方を話し合う機会を持ちたいと思います。
- ・「休職者」について、職場の職員に対してのメンタルヘルスケアと復職支援と思わず、一般就労をされている利用者の方の復職支援と思って参加しましたが、これから起こりうる職員のメンタルヘルスケアについて学ぶことができました。
- ・従業員 50 人以内の職場に産業医がいない場合のサポートは、企業側がセルフケアやサポート体制等には限界がある様に思う。また、従業員が休職中、医師にかかっている場合、企業側として医師と協力体制を築くことは（本人の同意が得られない）難しいように思う。  
しかし、本研修で、従業に思いを寄せ、“おもてなし”が提供できる施設にしなければと再確認できました。ありがとうございました。
- ・福祉職員として、利用者の様子の把握には注力してきているつもりだったが、管理者として職員の様子の把握については不十分だったのでと振り返る機会となった。  
普段からの声掛け等、コミュニケーションを図り、初期対応を心掛けたい。また、休職時の関わり方や計画の立て方等、（現状は該当者はいないが）今後の参考にしたい。
- ・スキルアップに繋がる内容で、職場の現状と照らし合わせる事が出来ました。ありがとうございました。
- ・私の職場でも職員のメンタルヘルスの維持は大きな課題です。メンタルヘルスについて知っているようで知らない事ばかりでした。有難うございました。